



郷土の文化と共に入場者10,000人突破!!

～町見郷土館～

(関連記事10ページ)

2010
国民読書年

じゃあ、読もう。

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

10月のテーマ“読書に親しもう”

(実践方法)

- 家族みんなで読書を楽しみ、その感想を話しあったり、本の読み方や選び方等について話し合おう。

平成22年
10月1日発行

No.66

10月号

一流選手の技を学ぼう!! 伊方町バレーボール教室



2017年の愛媛国体を盛り上げようとイベントとして昨年に引き続きVプレミアリーグの岡山シーガルズを招いてのバレーボール教室を、8月28日に伊方町スポーツセンターにおいて実施しました。今年は、町内及び八幡浜市内の中学校バレーボールチームを中心におよそ150名が参加しました。

開会行事で森口副町長から歓迎あいさつのあと早速教室にはいりました。はじめは、ストレッチ体操で準備運動をしてからボールを使つての運動を行ないました。

次に、オーバーパスとアンダーパスを、中学生の代表6組が行なっている横で比較できるように選手が見本を示し、どこに注意しなければいけないかポイントの説明がありました。その後、アタッカー、セッター、レシーバーの3つのポジションにわかれて指導が行なわれました。細かい点をチェックしてもらいながらアドバイスをしていただきました。

小学生のみなさんは別メニューで、パスの出し方は選手から出されたボールを受け取ってすぐに返す方法や、スパイクの手の振り方からの使い方などを教わっていました。満面の笑みで、選手とボールに触れ合っていました。

最後に、チーム練習を行い状況に応じたポジションのチェックを行ないました。チーム練習を行なっているコート外では、時間を無駄にしないようにレシーフ練習を選手の

指導の元で行なっていました。

翌29日は、紅白戦が行われました。前日のバレー教室に参加した子どもたちや多くの町民が見守る中、選手たちが入場しました。森教育委員長から花束贈呈等が行なわれた後紅白戦開始。河本監督が、全日本メンバーを入れた選手の紹介とゲームが始まってからは解説を行いました。作戦タイム時の話の内容とか、選手その日の調子とか楽しく観戦できるようにしていただきました。

2セット目は、三崎高校バレー部と三崎クラブから紅白戦に参加しました。三崎クラブの小田さんはサーブから選手交替で入り、レシーブも無難にこなし余裕すら感じさせる動きでした。また、三崎高校バレー部の中村さんは岡山シーガルズのブロックに臆することなく力強いアタックを打っていました。



選手の素晴らしいプレーに対しては、会場の参加者から惜しみない拍手が送られていました。一流選手による指導やプレーを肌で感じて、参加した中学生や小学生のみなさんにとって有意義な日となりました。

最後に、サイン会が行なわれ、20名の選手の下に中学生や小学生が列をなしました。チーム最年少の高校生選手宮下遥選手の所だけは、最後まで長い列が出来ていました。



参加者の声



伊方中バレー部
宇都宮楓キャプテン

トスが下手だったのですが教えていただいて安定するようになったし、強いボールがきたときのレシーブの仕方とかいろいろ学ぶことが出来たので良かったです。



瀬戸中バレー部
米田真悠キャプテン

レシーブの仕方間違っていたところがわかったので良かったです。スパイクを打つときの手の動きとかが難しかったです。



三崎中バレー部
中村春香キャプテン

苦手なことを教えてもらえた上に、大好きな選手とも握手ができてとてもうれしかったです。来年もきて欲しいです。スパイクを打つときのタイミングや、手の位置など難しかったけどこれから活かしていきたいです。



三崎クラブ 小田妙央さん
(紅白戦に出場して)

楽しかったです。

(教室では) チームのレシーブの体型とか隣との兼ね合いとかを教してもらいながら出来たので、帰ってから練習で活かしていきたいです。



河本昭義監督

目が生き生きとした子どもが多いのと、指導者からの「細かい質問」や「アドバイス」をどのような形でしたらよいのか」など、他の地域にないような熱心さを感じることができて非常にうれしく思いました。

自分が苦手な事に積極的になることは、試合や自分の成長の為には非常にいいことです。できないことを恥じないような気持ちを持ち、スポーツを通じて挑戦して欲しい。また、友だち同士でそのことを気にしながら引っ込み思案になる部分が解消できれば相乗効果でレベルアップしていくのではないかと思います。



(バレー教室に参加して) 昨年は怪我で参加することが出来ず、みんなからは「バレーに対して熱心な町」ということを聴いていて今回参加できることをすごく楽しみにしていました。指導者の立場でしたが、アドバイスをすぐ実践する参加者の姿勢で神聖な気持ちにさせてもらった部分がすごく多かった一日でした。

(うまくなるためには) 日々の積み重ねなくして試合で安定した力を出すことはできません。

難しいことですが、他人と比べるのではなく自分は「こうなりたい」という目標を持ち、今の自分にできることを日々積み重ねていければいいと思います。

チームプレイでは、お互いの不得意な部分を補っていくことと、試合では仲間と呼吸を合わせることを私たちは大切にしています。「自分がきめたらいい」ではなく、「このボールをどのように仲間につなげるか」と考えてプレーするだけで変わってくると思います。

(キャプテンとして) 技術面では、不得意部分のレベルアップが一番にありますが、仲間がして欲しいことに応えられたり、仲間の状況を見ている確かな声をかけられればいいと思います。私自身もプレーで表現できなくても、仲間の思いを感じて行動するということを目標にやっています。



若浦貴子キャプテン



公民館だより

いかたおえかきひろば2010夏開催

中央公民館

8月10・11・12・13日の4日間、伊方小学校1年生～6年生の希望者62名が参加しました。河内地区の川上ひとみさんが長年、一人で指導してくださっています。

低学年は魚やとんぼ等を描き、高学年はポスターを描いていました。初めは子どもたちも何を描こうか迷い、画用紙とにらめっこをしていましたが、川上さんに相談していくうちに思い思いの絵が完成していきました。友だちと配色の

相談をしたり上級生が下級生のお世話をしたりと、絵画制作活動を通して絵を描く楽しさを味わい、友だちと一緒に楽しく過ごすことができたと思います。

子どもたちにとって川上さんと過ごした4日間は夏の思い出の1ページになったのではないのでしょうか。次回は春休みに予定しております。お楽しみに!!



「町見老人大学町内視察研修実施!」

町見公民館

町見老人大学では、9月8日(水)に伊方原子力広報センターのご協力により伊方町内の原子力施設の視察研修を実施いたしました。午前中の「伊方ビシターズハウス」視察研修では、シアターホール内の大型スクリーンで飛び出す3D立体映像を視聴しました。また、伊方発電所を支えている基礎岩盤である展示用の緑色片

もおられました。

午後は、伊方町庁舎6階の「オフサイトセンター」を見学しました。TV会議システムや緊急時対策支援システム等を学び、その後、「伊方原子力広報センター」を見学し、暮らしを支えるエネルギーについて学びました。

全日程を通して、会員相互の親睦と原子力の平和利用に関する知識を深めることができ、有意義な視察研修になったと思います。

中央制御室では、発電所の安全性について学び、日々、伊方発電所のみならず安全運転に努められていることを肌で感じました。「伊方発電所外周見学では、バス車中より、1～3号機を見学し、バスから降りて展示用タービン見学をし、間近で見る巨大なタービンの迫力にびっくりする会員さん



瀬戸のガラパゴスめぐり 〜環境教育事業〜

瀬戸公民館

9月5日(日)、松之浜海岸にて瀬戸のガラパゴスめぐり(環境教育事業)を実施。瀬戸地域の小学生児童を中心に、大人の方も含めて16名の方が、講師の水本孝志先生の案内の元、海岸に生息している植物や生物の観察をしながら、自然の大切さについて学んでいきました。

タイドプール(潮溜まり)には、タツノオトシゴなど、いろいろな生物を発見することができ、磯遊びをとおして、海を一生懸命浄化している生物の仲間と友だちになりました。

また、海を汚し生物にダメージを与える人工の漂着物(ゴミ)を集めたアイトづくりなども行いました。

最後に、ゴミの分別を行い、参加者1人づつが海に向かって石投げ(水きり



磯遊びをしながら生物観察



捕まえた生物を観察中。観察が終ると海に返してあげました。

第2回

環境教育事業のご案内

瀬戸公民館では、10月16日(土)に佐田岬灯台にて渡り鳥ウォッチングを開催する予定です。ご興味のある方は、瀬戸公民館(57-2111)までお問合せ下さい。

- ・日 時 10月16日(土)
- ・場 所 佐田岬灯台
- ・内 容 渡り鳥ウォッチング

熱闘「盆大会」でふるさとを満喫 〜第60回 三崎夏季体育大会〜

三崎公民館

「三崎夏季体育大会」が8月14日三崎小中学校グラウンドを主会場に開催されました。

この大会は今年で60回目という歴史ある盆の恒例行事「盆大会」として定着しています。チーム構成は地域毎に行われ、盆に帰省した人たちも加わりソフトボールやレクバレー、卓球等で熱戦が繰り広げられました。

大会終了後は、久しぶりの再会と好評しや珍プレー談話で慰労の宴が盛り上がり故郷でのお盆の楽しい一時を過ごしたことでしよう。



レクバレー 優勝 札場チーム



ソフトボール 優勝 西チーム



学校通信



「体験を通してたくましく育つ」

大久小学校

校舎の窓を開けると、ザーザーと寄せる波の音。砂浜と広い海。テトラポットに群れるカモメ。上空に舞う鷹。行き交うフェリー。ちりめんをひく船団。まっすぐな水平線のむこうには遠く日振島。山の方を見ると、ミカンとサツマイモの段々畑。天気の良い日に見られるいつもの風景です。大久小学校は男子19名、女子27名。山と海に囲まれ、とても自然が豊かな環境にあります。

本校はまたスポーツの伝統が息づいており、先輩・後輩の仲がよく、大会前などは卒業生も練習に来てくれ、女子のミニバスは、今年、郡大会で優勝しました。

先日、昔の大久の様子がNHKの番組「新日本紀行」で紹介されました。自然を相手に自然の厳しさに耐え、それを乗り越えてきたたくましさは、河野兵市さん・中村修二さんなど、世界で活躍する人たちを輩出しています。子どもたちの誇りでもあります。

子どもたちは暑さに負けず、元気に学校へ来ています。



陸上・スポ少・運動会の練習など、頑張っています。夏には、大久VA海のつどい・ちりめん祭り・花嫁祭り・わくわく岬めぐりなど児童が参加するイベントがたくさんあります。7月には大阪よりミクルミュージカル劇団が来て、10月に本校の体育館で行われる舞台芸術体験事業に向けてワークシヨップを行いました。このように本校の子どもたちは、様々な体験を通してたくましく育っています。

がんばったよ、水泳大会

九町小学校

8月20日に、恒例の校内水泳大会を実施しました。

九町っ子は、みんな泳ぐのが大好きです。盆を過ぎて、7割以上がプールを利用しています。また、多くの児童が、町の水泳教室に参加しています。

当日は、そのコーチの方も保護者といっしょに応援していただき、いつも以上に盛り上がった大会になりました。

最初は、低学年の部です。紅白に分かれての水中宝探しの後、小プールの縦泳に挑戦しました。夏休みに入ってから、校内水泳教室を開き、この日までに全員泳げるようになっていました。

本番では、12名中7名が、12mを泳ぎ切りました。

中学年は、25m自由形です。ビート板を使った児童も含めて、全員完泳しました。

高学年は、50m自由形です。普段の授業から泳ぎ込んでいて、全員好記録でフィニッシュしました。中には、県のベスト10に入るくらいの好記録を



出した児童もいました。

最後に、3年生以上の縦割りの班でリレーを行い、無事に閉幕しました。

どの児童も、真っ黒に日焼けした身体を踊らせながら今年最後の自由泳を楽しみ、名残惜しそうにプールを後にしました。また、来年の活躍を期待したいと思います。

四国大会で2連覇

伊方小学校 近藤俊一郎くん

8月29日、香川県で開催された「四国小学生相撲選手権大会」に伊方小5年近藤俊一郎くんと4年阿部階喜くんが愛媛県代表として団体戦と学年別の個人戦に出場しました。近藤くんは、個人戦5年生の部に18人が出場した中で、昨年につづいて優勝し2連覇を果たしました。各県から3チームが出て12チームで争う団体戦では、近藤くんと阿部くんは共に愛媛Bチームで出場し第3位になりました。



近藤くんは、個人戦の四国代表として12月5日東京両国国技館で開催される第23回全日本小学生相撲優勝大会に出場します。

資源を有効活用！

各中学校で資源回収

夏休みも終わりに近づいた8月21、22日に町内3校の中学校で資源回収が行われました。収集物は、アルミ缶・ビール瓶・一升瓶の3種類ですが、各学校や地区によって収集物が異なります。



三崎中学校区の様子



瀬戸中学校区の様子

瀬戸中学校区の三机地区では、J・A三机出張所前へ朝7時に保護者と生徒・先生およそ20名が集まり、収集と選別作業を分業で行い業者指定の袋に詰め替えました。今年も、昨年と同じぐらいの量が集まりました。

町民のみならず、ご協力ありがとうございました。来年度も、よろしくお願ひします。

「参加児童・生徒43名が42・8kmを見事完歩！」

佐田岬13里見て歩き

地域の友だちとの交流を深め、歩きながらふるさと佐田岬半島の自然や文化に触れる「佐田岬13里見て歩き」を公民館主催により、8月25日(水)、26日(木)の1泊2日で実施しました。参加者は町内の小学3年生から中学1年生の43名です。また、今年度も川之石高校の先生、生徒の方にボランティアスタッフとして参加いただきました。



名取の石垣に触れる

途中から名取地区に入り、名取集会所で昼食をとり、大佐田地区を経由して、ゴールの三崎公民館までの17・2kmを歩きました。名取地区では、巧みに積まれた芸術的な石垣に触れ、感動している子どもたちもいました。

2日間を通して、筋肉痛や、暑さでバテ気味の子ともいましたが、保健師さんの健康面でのサポートや、高校生スタッフの安全面でのサポートがあり全員無事に完歩しゴールできました。

解散式では、子どもたちをねぎらい、完歩賞が館長より一人ずつ手渡されました。観測史上、最も暑かったとされるこの夏に「完歩した自信」が今後役に立つ時があることと思います。



2日目瀬戸アグリトピアをスタート

向かいました。きらら館で昼食をとった後、メロディーラインを歩き、宿泊地の瀬戸アグリトピアを目指しました。初日の歩行距離は25・6kmもの距離があり、一日に歩く距離が今まで実施した中で一番長かったのですが、子どもたちは、友だちと協力しながらがんばって歩きました。夜は、バーベキューや交流会のゲームで、友だちの輪を広げ、みんなで楽しみました。



日頃の練習の成果を発揮!

愛媛スポレク祭2010伊方町大会

8月22日(日)晴天の下、

三崎小中学校グラウンドを中心に愛媛スポレク祭伊方町大会が開催されました。種目は、5種目ありターゲットバードゴルフとインディアカ、ペタンクは愛媛スポレク祭の予選会です。また、ソフトボールとレクバレーは町内スポーツ愛好者の交流を目的に実施されました。予選会の部では、インディアカで男女ともに「みさき」が2連覇を果たしました。また、ターゲットバードゴルフのシニアの部で梶田正雄さんが2連覇を果たしました。



シニアの部優勝の梶田さん

ペタンク優勝 梶谷チーム(左から木下さん、辻さん、梶谷さん)



ペタンク優勝 梶谷チーム(左から木下さん、辻さん、梶谷さん)



大会結果は、次のとおりです。愛媛県大会は、10月31日と11月7日に県総合運動公園を中心に行なわれます。

愛媛スポレク祭2010伊方町大会結果表

種	目	優 勝	準優勝	第3位
ターゲット・バードゴルフ	一般の部	小 池 晴 幸 (伊方地区)	竹内柳 一 郎 (伊方地区)	政木喜一郎 (伊方地区)
	シニアの部	梶 田 正 雄 (伊方地区)	田丸せみ子 (伊方地区)	堀 内 利 和 (伊方地区)
インディアカ	男子の部	み さ き (三崎地区)	か ~ な ま (瀬戸地区)	
	女子の部	み さ き (三崎地区)	舞 姫 (伊方地区)	き ら ら (伊方地区)
ペ タ ン ク		湊 浦 梶谷チーム	小中浦 井上チーム	小中浦 吉本チーム
ソ フ ト ボ ー ル		伊 方	三 崎	瀬 戸
レクバレー	1ブロック	サ リ ー (三崎地区)	パ ー プ ル (瀬戸地区)	赤 い 風 船 (瀬戸地区)
	2ブロック	V I V A (伊方地区)	O . B . L (瀬戸地区)	は ま ゆ う (三崎地区)

ライフアップ講座のご案内 (第2回)

愛媛の秋と言えば、いも炊き!!

第2回ライフアップ講座は、愛媛の郷土料理「いも炊き」の料理講習会を下記のとおり開催します。

おいしい「いも炊き」の調理方法を実習し、みんなでワイワイ試食しましょう!!

日 時 平成22年10月22日(金) 18:30~20:30
場 所 伊方町中央公民館 3階 調理実習室
内 容 料理講習「伊予の秋 いもたき」他
講 師 高石 洋子 さん
(伊方町中央保健センター栄養士)
定 員 20名程度
受 講 料 500円(当日集めます)
持 参 品 エプロン、三角巾
申込方法 10月14日(木)までに住所・氏名・電話番号を生涯学習課へご連絡ください。
伊方町教育委員会 生涯学習課
TEL 38-2661 FAX 38-1179



2年連続で全国青年大会出場!

伊方町連合青年団フットサル

8月29日に、松山市で開催された愛媛県青年大会に伊方町連合青年団がフットサルとバレーボールに出場しました。

昨年の8位入賞以上の良い成績を期待します。

フットサルの部では、昨年と同じ3チームによるリーグ戦で争われました。初戦は、宮窪FCと対戦し2対0で勝利。次の相手は、リベラーレ西予。昨年は、勝利していたチームでしたが善戦むなく1対2で準優勝となりました。

試合結果

○フットサル リーグ戦

宮窪FC(今治) 0 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 0-2 \end{pmatrix}$ 3 リベラーレ西予(西予)
伊 方 町 2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 宮 窪 F C(今治)
伊 方 町 1 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 2 リベラーレ西予(西予)

○バレーボール 男子1回戦

岬 ク ラ ブ 0 $\begin{pmatrix} 11-21 \\ 8-21 \end{pmatrix}$ 2 シ テ ィ ー ス(松山)
(伊方)

市川さん(左側)と中田さんの選手宣誓





図書館だより



10月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

○…おはなし会
 ■…休館日

利用案内

- 開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）
祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日

瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894) 38-0607

新着図書

●オススメ



・エイモスさんがかぜをひくと

／フィリップ・C.ステッド 文
 エリン・E.ステッド 絵、青山 南 訳

〈内容紹介〉

どうぶつえんではたらくエイモスさんは、おともだちのどうぶつたちとすごすじかんをとて、もたいせつにしていました。あるひ、エイモスさんが、かぜでどうぶつえんをやさむと、どうぶつたちは、きになってしかたがなくなり…。



・尼子十勇士伝

／後藤 竜二 著

〈内容紹介〉

戦国時代末期、出雲の戦国大名・尼子晴久は、毛利元就の謀略に乗せられて、身内の「新宮党」を全滅させてしまう…。謀略渦巻く乱世の中で、人間への信頼を貫き、誇り高く生きた男・山中鹿之介の姿を描く。

《児童》

- ・にこちゃんとおんぽんまる／真珠まりこ 作・絵
- ・あふりかのあかいみち／やましたはるお さく、しまだ しほ え
- ・しごとば／鈴木のりたけ 作
- ・小さな王さまとかわいなる竜／なががわちひろ 作
- ・市立第二中学校2年C組、10月19日月曜日／柳月美智子 著
- ・いっぽんくんのひとりごと／角野栄子 作
- ・岩崎弥太郎／小西聖一 著
- ・すいはんきのあきやすみ／村上しいこ さく、長谷川義史 え

ほか



・ゆんでめて

／畠中 恵 著

〈内容紹介〉

身体は弱い知恵は溢れる若だんなの史上最大の後悔。ズレてはいるけれど頼りになる妖たちも、今度ばかりは助けられない？！



・一流の習慣術

／奥村 幸治 著

〈内容紹介〉

能力や体格の差を埋めるための考え方や行動には、凡人が一流になるための本質が存在する。かつてイチローの専属打撃投手であり、のちに中学時代の田中将大投手を指導した著者が、一流になるための習慣術を紹介する。

《一般》

- ・土曜日は灰色の馬／恩田 陸 著
- ・バカボンのパパよりばかなパパ／赤塚りえ子 著
- ・寂聴辻説法／瀬戸内寂聴 著
- ・捨てる勇氣 残す覚悟／土井けいこ 著
- ・再会／横関 大 著
- ・あんじゅう／宮部みゆき 著
- ・とまどい関ヶ原／岩井三四郎 著
- ・きみ去りしのち／重松 清 著

ほか

2010年・第64回 秋の読書週間

10月27日(水)～11月9日(火)

今年の標語 「気がつけば、もう降りる駅。」

保管期間の過ぎた雑誌を無料で差し上げます。

保管期間の過ぎた雑誌「月刊つり情報・趣味の園芸 など」（週刊誌を除く）を無料で差し上げます。（先着順）

下記の期間に館内で実施いたしますので、お早めにお越しください。

期間：平成22年10月27日(水)～11月7日(日)まで

ピップスおはなし会のごあんない

～ 今月のおはなし会 ～

日 時：9日(土)・23日(土) 午後2時～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対 象 者：未就学児童および親子

小学校低学年児童

絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね！



町見郷土館の総来館者数が

10,000人を達成!

伊方町の博物館―町見郷土館の総来館者が、平成11年6月の開館以来、11年かけて1万人を達成し、その記念行事が行なわれました!

9月7日、記念行事のメインゲストは、町見郷土館と同じく、町見地区で平成11年に生まれた、九町・二見両小学校の小学5年生各5名計10名。全員が館の入口に横一列に並んで、合図で一斉に一歩前に進み「入館」、10人同時に「1万人め」の入館者となりました。会場では、町見郷土館サポーター「佐田岬みつけ隊」

11年がかりの達成ですが、町見郷土館では、これまで3冊の

報告書や、目録・館報を発行し、佐田岬みつけ隊等とともにさまざまな活動に取り組んできました。1万人達成は、「博物館」について皆で祝い、考える良い機会となりました。



記念品の贈呈をうけた児童のみなさん

「すわる」で自分と向き合おう!

座禅体験 in 伝宗寺

9月12日(日)、三崎地区の伝宗寺において座禅体験が行なわれ、14名が参加しました。これは、町見郷土館で開催されている企画展「オチヨッポの軌跡」の関連イベントとして開催されたものです。はじめに、伝宗寺多田住職から「すわる」についてのお話がありました。椅子に座る、腹がすわる、社長にすわる(就任する)というように「すわる」にはいろいろな意味があるというお話の後、早速座禅を行ない

ました。はじめは5分。2回目には、座禅を行なっている時に、何の音が聞こえるかとして13分程度。参加者は、鉦の音を合図に姿勢を正し精神統一に取り組みました。月1回実施している座禅会では、20分〜25分で実施しているようですが、今回は初心者の方にあわせて短めにしました。



今回の体験を通して「すわる」ということの再認識ができたのではないのでしょうか。



指定管理者募集のお知らせ

- 管理施設** 伊方スポーツセンター
- 管理期間** 平成23年4月1日から平成28年3月31日まで(5年間)
- 応募資格** 伊方町内に主たる事務所を有する法人または団体
- 応募期間** 平成22年10月1日から同年11月10日まで
- 応募要項** 10月1日から伊方町役場3階生涯学習課で配布します。また、伊方町ホームページからもダウンロードできます。
(<http://www.town.ikata.ehime.jp/>)

【お問い合わせ先】

伊方町教育委員会生涯学習課まで 電話 38-2661



郷土出身文学者の講演会のお知らせ

「高橋新吉と富澤赤黄男の故里を訪ねて」

日時 平成22年10月24日(日) 10:30〜12:30
場所 生涯学習センター 5階 多目的ホール
主催 西南四国歴史文化研究会
後援 伊方町教育委員会
講師 元宇和島市立病院長 近藤俊文氏

演題「富澤赤黄男の生涯」
西南四国歴史文化研究会常任理事 清水真一氏
演題「高橋新吉と故里の仲間たち」

※入場無料です。多くの俳句ファン・文学に興味をお持ちの方々のお越しをお待ちいたします。

佐田岬の自然スライド上映会 整いました!

チョーゆかいな 蝶々布陣物語

10月27日(水) 19:00~
いろんな蝶々大集合!
お気軽に。

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習課
■開館時間 9:30~16:30
■休館 月曜日ほか

◆ 今月のきょうどかん ◆

2010年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■—おやすみ □—夜スライド上映

総来館者10,000人達成記念ミニロビー展

町見郷土館のおいたち展



開催中!

10頁でふれたように、町見郷土館の総来館者数が、10,000人を達成しました。これを記念して、現在1階ロビーで、町見郷土館の開館までと、開館から現在までの活動を紹介する写真展を開いています。町総合計画に「地域博物館構想」が謳われています。この町の博物館運営、地域の文化財や歴史とどのように向き合っていくのかが問われています。ぜひご覧ください。

町見郷土館から

佐田岬沖を無事に渡るた
さて、その航海の難所—
伊達殿様お鼻がこわい—
という俗語まであったそ
うです。

江戸時代には、参勤交代といって、各地の大名が定期的に江戸の將軍のもとへ出仕する制度がありました。宇和島領主伊達家も例外ではありません。幾度となく宇和島—江戸間を往復したのですが、その時の航海の難所のひとつが、佐田岬半島だったのです。特に先端の佐田岬(昔は「お鼻」と呼ばれました)沖は、潮の流れが速く、昔から航海の難所でした。

二間津の供養塔

佐田岬民俗ノート

65

め、佐田や二名津は、潮待ちの港としてよく利用されました。しかし、それでも海難事故は多かったです。写真は二名津地区の一面に立つある石碑、総高約一二四センチ、塔身の幅・奥行きともに三〇センチと立派なものです。砂岩製で一部剥落しており、あまり触れる状態ではありません。正面に大きく「大乗妙典之塔」とあり、左右と背面には、びっしりと文字が刻まれています。



寛延元年(一七四八)九月、参勤用の船が二間津(現在の二名津)で停泊中に暴風雨に会い三艘が転覆、水主一八人が水死しました。その悲しい出来事を受けて宝暦十二年(一七六二)、領主伊達村侯が建てた供養塔がこの石碑です。碑文には「二間津浦」の文字が見えますが、この後天明二年(一七八二)に、二間津浦は二名津浦と改名します。

ご近所の人々のお世話によって現在も大切に守られている石碑は、江戸時代の「お鼻」の歴史を今に伝えているのです。

参考文献『瀬戸町誌』『西宇和の碑文』など



学ぶこと・知ることの大切さ

三崎公民館

人権問題は、「とかく難しく堅苦しい話よ」、「自分には関係のない問題よ。」とかで取り付きにくいと思われがちです。

しかし、この問題は私たちには避けて通れない問題ではないでしょうか。

例えば、

「子どもの問題は、大人の問題」

「女性の問題は、男性の問題」

「高齢者の問題は、若者の問題」

「身体に障がいのある方の問題は、健全者の問題」

「同和問題は、差別する側の問題」
何れも上記の「内の弱者に対して、下記の「内は大勢若しくは強者です。」

これを見ると、大半の方は下記「内のいずれかに該当すると思われます。しかし、いつかは誰しも年を重ね、身体に障がいが生じてきて、立場が変わり上記「内に該当し、人権が侵害されてしまう恐れがあるのではないでしょうか。その時、関係ないで済まされますか。」

しかし、立場が変わらない問題もあります。生まれた地域だけで理不尽で不合理な差別に合ってしまうという許されることの出来ない現実もあります。

ある啓発用のポスターに「手があったても人間です」「手がなくても人間です」「視力があっても人間です」「視力がなくても人間です」これを見た障がいのある方たちは、心を傷つけ

ました。障がいとは人間としての条件に関係ないからです。始めから人間です。

何気なく平等を訴えた、障がい者差別を無くそうとするポスターが反対に障がいのある方たちに憤りを与えてしまったという話を聞きました。

どこに生まれようが、子どもであれ、女性・高齢者であれ同じ人間なんです。

「無知(知らない)ほど恐いものはない」と聞きますが、差別事象が起きた時の加害者の人間性は、人権学習をしてなく様々な人権問題に対しての知識がない差別という偏見を持ち続けた人たちが殆どです。

私たちも、家庭内や地域内・町内で何気なく平気で使った言葉、行動が相手の人権を侵害してしまうことがよくあると思います。言った本人は平気ですが、反対に言われたら傷つくことがあります。そんな時、それに気付かなかつたり、自分自身の人権感覚を疑って恥ずかしい思いをしたこともあります。

日常、なかなか自分自身の人権感覚について振り返る機会は少ないと思います。

ちょうどこの時期、町内全域で「地区別人権・同和教育懇談会」が開催されています。人権問題は他人事ではなく自分自身のために、年に1回の「懇談会」に足を運び、自分の人権感覚を再確認し高めて見ませんか。

児遊館より

ヘビのびっくり箱を作しましょう!

10月16日(土)午後2時から、ヘビのびっくり箱を作しましょう!

参加される方は当日時間までに、3階児遊館にお越し下さい。

参加費：無料

映画上映会のご案内

10月9日(土)、3階児遊館にて映画上映会を行います。

室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場 所 児遊館内集会室

作 品 名 ポケットモンスター

上映時間 1回目 10:00～11:10

2回目 15:00～16:10



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-0211(内線856)

伊方スポーツセンターをより

22年度 受講生募集中!!

スローヨガスクール

時 間 19:00～19:50

場 所 伊方スポーツセンター 3階 会議室

内 容 初心者の方を対象に、基本的なポーズを行います。ゆっくりとした動きのヨガを行い代謝を高めます。初めての方、体の硬い方でも大丈夫です。

料 金 2000円/1期(4回コース) 700円/1回(1回コース)

曜 日 毎週木曜日

トレーニング教室

時 間 ①18:30～19:50 ②20:00～21:20

場 所 伊方スポーツセンター 3階 トレーニング室

内 容 個人プログラムを作成し、個人の目的に合わせたサーキットトレーニングを実施いたします。マシントレーニングだけでなくバランストレーニングも行いシェイプアップ、アンチエイジングに効果的です。

料 金 2000円/1期(4回コース)

曜 日 毎週水曜日



なお、くわしいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎38-1100

☎38-0776

報 文 芸

俳句

町見野の花句会

名月や妻の囁き一献さし
上口久志
今朝の試歩うぐいす夏を啼いてをり
岩見愛子
焼石に水なる白雨過ぎにけり
菊池あつ子
網戸して夜風と遊ぶ眠りかな
林 そで子
炎天下蔭を求めて診療所へ
川縁秀子
吾が影に低く添いとぶ秋の蝶
山田美恵子
別荘に明りの点る月今宵
岩井ふみえ

三机句会

卓上に活けられし花サルスベリ
得能カツミ
今日の月隠す雲あり葬の家
西山美津子
へチマの実杉垣ほうて背いくらべ
得能悦子
朝日中黄金波打つ稲穂かな
根来嘉子
忘れ得ぬ人ふとよぎる雲の峰
大沢昭子
寵愛の団扇や佐びし閉ざす部屋
城岡正治

川柳

伊方川柳会

真つ直ぐに生きて悔なき生活
井上良枝
かな
晝までの予定済ませて塩むすび
山崎美喜
「悔しいネ」趣味の菜園鳥荒らす
上田幸香
偉い人になれなくても善い人になる
門田千枝
テレビみておとこおんなの「乱れ髪」
池田君子

さざなみ句会

山葡萄知るや知らずや孫十人
中谷段々子
いづこまで進むか人智秋の空
丸川一彦
煩惱の如き淡さや寺の柿
大谷勉
孫等来た洗濯増えた夏休み
石田満
秋祭り西から繋いで十三里
中谷ハル子

川柳会三崎支部

今日も亦暑さにプラス蟬の声
田村智子
早送り出来たらいいなこの暑さ
徳内郁
石が好き黄金の花は何時か散る
上田文男
灼け石は水に打たれて「しゅん」と哭く
木戸悦子
盆も過ぎ休む間も無し扇風機
石田満

えひめ森林俳句コンテスト作品募集

山が好き 森が好き
木が好き
そんなあなたの一句をお寄せください!

【テーマ】

愛媛県内の「木、林、森、里山、林業作業等、森林や林業を詠んだ俳句」

【応募条件】

・愛媛県在住者としてます。
・俳句は有季・定型とし、日本語俳句とします。また、春夏

秋冬、季節は問いません。

・応募作品は本人が創作した未発表のものに限ります。

・入選作品の著作権は主催者側に帰属し、県産品のPRなどに有効利用します。

【応募方法】

・応募は、はがき及びメール。
はがきは、1枚5句以内を1組とし、何組でも応募可能。
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記。

【応募先】

〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2
愛媛県 森林整備課 えひめ森林俳句コンテスト係
E-mail: morinohaku@emk.jp

【応募期間】

10月11日(月)当日消印有効

【参加費】

無料

【発表・表彰】

・11月11日(木)開催の「えひめ山の日の集い」において発表・表彰式を行います。
・入賞作品は、コンテスト終了後ホームページに掲載します。

【問い合わせ先】

愛媛県庁森林整備課保護緑化係
電話089-912-2597
(財)愛媛の森林基金
電話089-912-2601

